

「情報モラル教育」の実施について

伊勢市教育研究所

1 「情報モラル講座」実施実績について (実施回数)

	合計	幼稚園 保育園	小学校	中学校	高等学校	その他	備考
平成 29 年度	53	1	33	13	1	5	うち市外 9
平成 30 年度 (2 月末予定)	43	3	22	13	1	4	うち市外 9

- 情報教育系の指導主事と ICT アドバイザーが講師を務めている。
- 小中学校・園等からの要請に応じて随時講師を派遣している。
- 教育協議会や人推協等の地域団体や近隣市町からの要請にも応じている。
- 子育てへの影響を考え、幼稚園・保育園において早期に実施することに意義があるととらえている。

2 「情報モラル講座」内容について (参照：別紙資料)

【講座の主な柱立て】

- ①人と道具の歴史 (インターネットの歴史はまだ浅く、未成熟)
- ②インターネットの性質 (公開性と記録性)
- ③SNS 使用の注意点
- ④ネット依存の実態と予防
- ⑤ゲーム障害 (WHO が病気に認定)
- ⑥スマホネグレクト (子育てへの影響)
- ⑦思春期の脳とスマートフォンの影響

- 講座内容は各校の要望に応じて構成している。

3 各小中学校の「情報モラル教育」について

- 各校の情報教育推進委員が中心となり、発達段階と児童生徒の実態に即して作成した年間計画により実践を進めている。
- 年度末に各校の取組を冊子にまとめ、研修会を開催して交流し合っている。
- 平成 29 年度は上記研修会に和歌山大学 豊田充崇教授を招へいし、実践発表の講評と講演をお願いした。

演題「児童・生徒の SNS 利用実態と明日からできる情報モラル教育」

- 平成 30 年度末にも各校の実践交流を行う予定である。